

平成30年12月17日

会 員 各 位

一般社団法人広島県資源循環協会  
会 長 榎岡 達 真  
安全衛生委員長 三谷 哲 也  
(公 印 省 略)

**「安全衛生活動に関する取組状況調査」のお礼及び  
第1次「労働災害防止計画」の進捗状況等について**

当協会の運営並びに安全衛生活動については、平素より格別のご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成30年10月16日付けでお願いした「安全衛生活動に関する取組状況調査」については、多数のご協力を頂き、感謝申し上げます。

この度、アンケート調査の結果を労働災害防止計画の「評価指標」として、別紙のとおり取りまとめるとともに、「計画目標」と併せて平成30年の進捗状況等を整理しました。

下記進捗状況等と併せて、関係資料をお送りしますので、御社安全衛生対策の参考とされるとともに、引き続き、協会安全衛生事業に対するご協力をお願いいたします。

**【計画の進捗状況等】**

**1 計画目標（別紙「計画目標の推移」参照）**

労働災害統計（厚生労働省）を基に、広島県内の産業廃棄物処理業の労働災害発生状況を把握。

- 「死亡災害」は、平成28年、平成29年と2年連続して各1名発生。
- 「死傷災害」（4日以上休業傷病）は、平成27年（計画基準年）36人、平成28年49人、平成29年44人と増加傾向にある。
- 計画目標（平成31年死亡災害0人、死傷災害28人以下）を達成するためには、さらなる計画の推進や事故の抑制に努めていく必要がある。

**2 評価指標（別紙「評価指標の推移」参照）**

平成30年10月16日～11月16日にかけて、全会員（375社）に対するアンケート調査を実施。

- 評価指標9項目のうち「協会安全衛生事業認知率」「協会安全衛生研修参加率」「全産連支援ツール認知率」「安全衛生パトロール実施率」「リスクアセスメント実施率」の5項目は上昇傾向。
- 「アンケート回収率」「ヒヤリ・ハット活動実施率」「安全衛生規程作成率」「安全管理体制構築率」の4項目は横ばい傾向。
- 労働災害防止計画及び協会安全衛生事業等に対する理解・認識は向上しているが、引き続き、会員等に対して、計画内容や協会安全衛生事業の周知及びその活用等を働きかけていく必要がある。

**【本件の問合せ先】**

（一社）広島県資源循環協会（担当：山下）

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ4F

☎082-247-8499 FAX. 082-247-9719 E-mail : hshigen@gol.com

## ■ 計画目標の推移（労働災害統計より）

### 1 死亡災害発生状況

(年未計, 人)

年次	全国（全業種）	全国（産廃業）	同比率	広島県（産廃業）	同比率	備考
H25年	1,030	23	2.2%	1	4.3%	
H26年	1,057	18	1.7%	0	0.0%	
H27年	972	18	1.9%	0	0.0%	←計画基準年
H28年	928	16	1.7%	1	6.3%	
H29年	978	18	1.8%	1	5.6%	
H30年						
H31年						計画目標：0人

計画期間

### 2 死傷災害（4日以上休業傷病）発生状況

(年未計, 人)

年次	全国（全業種）	全国（産廃業）	同比率	広島県（産廃業）	同比率	備考
H25年	118,157	1,260	1.1%	33	2.6%	
H26年	119,535	1,244	1.0%	44	3.5%	
H27年	116,311	1,280	1.1%	36	2.8%	←計画基準年
H28年	117,910	1,320	1.1%	49	3.7%	
H29年	120,460	1,383	1.1%	44	3.2%	
H30年						
H31年						計画目標：28人以下

計画期間

### 【第1次労働災害防止計画（抜粋）】

#### 2. 計画の基本的枠組み

##### (1) 計画期間

この計画は、平成29年度から平成31年度までの3カ年計画とする。

##### (2) 計画目標

この計画においては、次の2つの目標を設定する。

①死亡災害：平成31年における死亡災害を「ゼロ」とする。

②死傷災害：平成31年における死傷災害（休業4日以上）を「28人以下」（平成27年実績の20%以上減）とする。

## ■ 評価指標の推移(全産連「安全衛生活動現状調査」より)

協会名：(一社)広島県資源循環協会

No.	入力項目	集計結果
①	アンケート回答数	86社
②	協会安全衛生事業の認知会員数	69社
③	協会安全衛生研修会への参加会員数(予定含む)	40社
④	連合会支援ツールの認知会員数	42社
⑤	安全衛生パトロールの実施会員数(予定含む)	57社
⑥	ヒヤリ・ハット活動の実施会員数(予定含む)	49社
⑦	リスクアセスメントの実施会員数(予定含む)	42社
⑧	安全衛生規程の作成会員数(予定含む)	19社
⑨	安全衛生管理体制の構築会員数(予定含む)	63社
(自由回答)	1日未満の災害者数	9名
	1～3日の休業災害者数	3名
	4日以上の休業災害者数	13名
	死亡者数	—

評価指標	H28年度	H29年度	H30年度
アンケート回収率	24%	25%	23%
協会安全衛生事業認知率	76%	70%	80%
協会安全衛生研修参加率	38%	33%	47%
全産連支援ツール認知率	44%	41%	49%
安全衛生パトロール実施率	60%	58%	66%
ヒヤリ・ハット活動実施率	58%	53%	57%
リスクアセスメント実施率	35%	39%	49%
安全衛生規程作成率	22%	36%	22%
安全管理体制構築率	76%	76%	73%
1日未満の災害者数	20名	6名	9名
1～3日の休業災害者数	10名	3名	3名
4日以上の休業災害者数	10名	11名	13名
死亡者数	—	1名	—

※調査期間：平成30年10月16日～11月16日

対象会員数：375社

### 【第1次労働災害防止計画(抜粋)】

#### 3. 評価指標

2(2)の計画目標の達成に向けた各種の取組みの効果を評価し、その進行管理に活用するため、次の評価指標を設定する。  
 指標値は、会員企業に対するアンケート調査を毎年実施して把握するとともに、安全衛生委員会においてその状況を評価・検討し、計画の進行管理、取組内容の見直し等に活用する。

一般社団法人広島県資源循環協会  
第1次「労働災害防止計画」策定

〔平成28年12月8日〕  
広島県資源循環協会

当協会では、全国産業廃棄物連合会（全産連）による「労働災害防止計画」の策定を受けて、県内の産業廃棄物処理業の労働災害発生状況、会員企業の取組状況等を踏まえ、本年12月8日に開催した第4回理事会において、「第1次労働災害防止計画」を決定しました。

この計画は、協会と会員が一体となって、会員企業の安全衛生の向上を目指すもので、安全衛生委員会（三谷委員長など委員10名）を中心に検討してきたものです。

協会では、会員企業の取組みを進めて頂く観点から、各種の機会を通じて計画内容の周知・浸透を図るとともに、安全衛生委員会を中心に計画の推進や進行管理を行って参ります。

会員の皆様におかれては、計画内容や会員企業の取組み例等を参考に、安全衛生人材の育成や安全衛生対策の向上に努めてくださるようお願いいたします。

【計画の概要】

1 計画期間

平成29年度から平成31年度までの3カ年計画とする。

2 計画目標

(1) 平成31年の死亡災害を「ゼロ」とする。

(2) 平成31年の死傷災害（休業4日以上）を「28人以下」（27年実績36人の20%以上減）とする。

3 評価指標

計画目標の達成に向けた各種の取組みの効果を評価し、その進行管理に資するため、次の評価指標を設定する。指標値は、会員企業へのアンケート調査を毎年実施して把握するとともに、安全衛生委員会において評価・検討し、取組内容の見直し等に活用する。

① 会員企業の全産連「安全衛生活動支援ツール」の認知率

② 会員企業の協会「安全衛生事業」の認知率

③ 会員企業の協会「安全衛生研修会」への参加率

④ 会員企業の「安全衛生パトロール」の実施率

⑤ 会員企業の「ヒヤリ・ハット活動」の実施率

⑥ 会員企業の「リスクアセスメント」の実施率

⑦ 会員企業の「安全衛生管理体制」の構築率

⑧ 会員企業の「安全衛生規程」の作成率

⑨ 会員企業の「安全衛生活動アンケート調査」の回収率

4 目標達成に向けた取組み

計画目標を達成するため、各種の教育・研修等を通じて会員企業の安全衛生人材の育成を図るとともに、それぞれの評価指標に応じた各種の取組みを推進する。

5 計画の進行管理

安全衛生委員会を中心に、マネジメント（PDCA）手法を用いた計画の推進及び進行管理を行う。

【参考資料】

① 会員企業における取組み（例示）

② 全産連パンフレット「始めよう！安全衛生活動」

③ 全産連「産業廃棄物処理業安全衛生チェックリスト」

④ 協会版「安全衛生パトロール『現場確認』チェックリスト」（暫定版）